

川越農林振興センターだより



埼玉県のマスコット コバトン

第20号 平成26年3月発行

発行 川越農林振興センター

電話 049-242-1808 (代表)

e-mail r421810@pref.saitama.lg.jp

ホームページ <http://www.pref.saitama.lg.jp/soshiki/k11/>



【第37回全国育樹祭併催行事】育林交流集会在飯能市で開催



篠田善彦氏による特別講演

平成25年11月16日（土）、第37回全国育樹祭の併催行事のひとつとして、飯能市の市民会館において、育林交流集会在開催されました。

古くから西川材の生産地である飯能市は、「森林文化都市」を宣言しています。本交流集会では、飯能市において人々が森林に関わることで育まれてきた文化の魅力について確認し、今後その文化をどう引き継ぎ活かしていくかという観点から「森林文化の継承と創造」というテーマで特別講演とパネルディスカッションが行われました。

特別講演では、岐阜県立森林文化アカデミー前学長の篠田善彦氏より、森林と人間との関わりあいの歴史についてのお話がありました。パネルディスカッションでは、飯能市在住の筑波大学生命環境系教授の加藤衛^{もりひろ}氏より、飯能市の木材生産地としての歴史や今後の展望について、駿河台大学現代文化学部

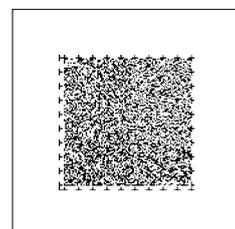
准教授の平井純子氏より、森林の多面的な利用法の一つとしての飯能市でのエコツーリズムの実践及び今後の取り組みについて、また、飯能市と同じく森林文化都市を宣言する山形県鶴岡市の林業家である加藤周一氏からは、木材販売手段の改革を進めていった経緯や、森林を広く一般開放して活用している様子等についての紹介がありました。その後は、森林文化の重要性や新たな森林文化の創造についての意見交換が行われ、今後の展開に期待がもてる内容となりました。

当日は県内外から約300人の参加者が集まり、熱心に聴講していました。



パネルディスカッション：
左から加藤衛^{もりひろ}氏、加藤周一氏、平井純子氏

音声コード (SPコード)



活字文書読み上げ装置で、情報を音声で聞く事ができます。

今年の稲作は高温対策と縞葉枯病(ヒメトビウンカ)防除がポイント

平成25年産米の全国作況指数は「102」の「やや良」で豊作傾向でしたが、埼玉県は「98」の「平年並み」、当管内の県西部地区は「97」で、関東甲信静の中でも一番低い作況指数となりました。

原因としては、8月上旬～中旬の猛暑による高温障害の発生とヒメトビウンカに起因するイネ縞葉枯病の発生が考えられます。

今から適切な対策を実施しましょう。

1 高温障害対策

昨年、出穂後の高温などの影響で乳白粒や胴割粒、着色粒が発生しました。

<高温障害発生を助長する条件の違い>

	乳白粒	胴割れ粒
関与する生育時期	出穂後2～3週間程度	出穂後10日間程度 (開花後6～10日頃)
気象条件	高温、寡照 特に最低気温(熱帯夜)	高温、多照 特に最高気温(猛暑)
穎果の着生位置	枝梗の基部側 (弱勢穎果)	枝梗の先端側 (強勢穎果)

今年も被害の発生が懸念されます。以下の対策を実施しましょう。

(1) 土づくり

有機物の施用、ケイ酸等土壌改良資材の施用や深めの耕うんで根張りを良くしましょう。

(2) 作付け期

極端な早植えは避けて登熟期の高温も回避しましょう。

(3) 高温登熟耐性品種の作付

新品種「彩のきずな」(平成27年本格導入、26年は実証導入)の作付を検討しましょう。

(4) 水管理

出穂前後の深水、早期落水を避けましょう。

(5) 穂肥

穂肥診断を行い肥切れに注意しましょう。

(6) 適期刈取

高温条件では登熟期間が短縮し、刈り遅れしがちです。適期刈取を励行しましょう。

2 イネ縞葉枯病対策

コシヒカリ、キヌヒカリ等は、今年さらなる被害の拡大が懸念されます。以下の対策を実施しましょう。



〈イネ縞葉枯病〉



〈ヒメトビウンカ幼虫〉

(1) 越冬場所の除草・草焼き

媒介するヒメトビウンカの幼虫は乾燥した雑草等の下で越冬します。畦畔や休耕田の除草や草焼きをしましょう。

(2) 縞葉枯病抵抗性品種の作付

縞葉枯病抵抗性品種「彩のみのり」「彩のかがやき」やキヌヒカリに替わる新品種「彩のきずな」の作付を検討しましょう。

(3) 適切な防除の実施

ア 箱粒剤施用は重点事項!

コシヒカリ、キヌヒカリなどの罹病性品種を作付ける場合は、ダントツ箱粒剤、ツイントターボフェルテラ箱粒剤またはルーチンアドスピノ箱粒剤を使用しましょう。

プリンス粒剤は管内のヒメトビウンカ感受性が低下しているため、管内全域で罹病性品種に使用しない

イ 育苗時の防虫ネット使用

コシヒカリ、キヌヒカリなどの罹病性品種では、育苗期間に防虫ネットで被覆し、ヒメトビウンカと苗を遮断します。

ウ 本田での適期防除

本田防除を行う場合は、早植栽培で6月下旬、普通栽培で7月上旬が防除時期になります。

「農薬を使用する際には、必ず使用農薬のラベルを確認しましょう！」

いるま地域明日の農業担い手育成塾への支援

当センターでは、いるま地域明日の農業担い手育成塾（事業主体：JAいるま野）の運営支援や塾生への研修指導を行っています。

塾では、農家出身でない就農希望者を対象に2年間の営農実践研修を実施します。その後参入可否を判定し、市町の農業委員会を通じて農地が確保できるよう支援しています。

これまでに7人が就農しました。現在18人の塾生が研修を実施しており、そのうち9人がまもなく研修を修了して新規就農する予定です。



研修中の塾生

農業経営の法人化支援

当センターでは、農業経営の法人化を推進するため、法人化スペシャリストを活用した個別相談会や研修会を行っています。農業経営のさらなる発展をめざし法人化等を検討している農業経営者の方を対象に、税務や労務、経営等の様々な問題に対応できるよう総合的な相談業務を実施しています。

相談を受けた農業者から農業法人が設立され、今後の経営発展が期待されます。個別相談を希望される方は農業支援部までお問い合わせください。



法人化後のフォローアップ（株苺の里（H24設立）
社会保険労務士による個別経営相談

入間地区6次産業化ネットワーク研究会の設立

平成26年1月30日、入間地域で6次産業化に取り組んでいる農業者の連携を図り、地区内での6次産業化を推進することを目的に、「入間地区6次産業化ネットワーク研究会」を設立しました。

今回は、6次化を進めるにあたっての経営的な考え方、販売者から求められること等について専門家を交えて話し合い、今後の活動に活かしていくことになりました。研究会へ参加を希望される方は、農業支援部まで御連絡ください。



入間地区6次産業化ネットワーク研究会の様子

管内のため池と耐震調査

埼玉県には、貯水量1,000トン以上の農業用のため池が502か所あり、当センター管内にあるのは23か所となっています。ため池は、これまで、地元農家組合などにより、日常点検が行われてきました。

しかし、東日本大震災によるため池の決壊により、人命が失われるなど甚大な被害が発生しました。震災を受けて、今年度から県と市町が、ため池の耐震点検、一斉点検を実施しています。

この結果をもとに、整備が必要なため池を把握し、今後の改修計画に反映させていきます。

1 内容

(1) 一斉点検

受益面積2ha以上のため池10か所を対象に、堤体の大きさ、貯水量、漏水、クラック、変形、改修履歴、周辺状況等の調査点検を行っています。飯能市にある宮沢ため池は県が、その他のため池は市町が調査を行っています。

【実施地区】

市町村名	名称
川越市	野戸池
飯能市	宮沢ため池、鯉ヶ久保池
日高市	仙女ヶ池
毛呂山町	鎌北湖、箕和田湖
越生町	学頭沼、大亀沼、弁天沼、高砂沼池



学頭沼 (越生町)

(2) 耐震性調査

下流に、人家や主要な公共施設などがあり、決壊した場合に大きな被害を及ぼす恐れがあるため池3か所を対象に、地質調査、地震時の堤体の滑りに対する安定計算、及びハザードマップの作成を行っています。飯能市にある宮沢ため池は県が、鎌北湖と箕和田湖は毛呂山町が調査を行っています。

【実施地区】

市町村名	名称
飯能市	宮沢ため池
毛呂山町	鎌北湖、箕和田湖



宮沢ため池 (飯能市)



鎌北湖 (毛呂山町)

川越総合高校生徒が三富農業を体験

埼玉県立川越総合高等学校（校長 竹本政弘）の農業クラブ員が、1年間にわたり三富の循環型農業を体験学習しました。昨年、クラブによるやま掃き体験を機に三富地域の農業に興味を持ったク



女子生徒によるサツマイモ収穫

ラブ員が、ジャガイモ等の植え付け（3月）、枝豆収穫（8月）、サツマイモ等の収穫（11月）を体験し、本年2月のやまの学習で終了しました。いずれも、三富落ち葉野菜研究グループ（代表 島田喜昭）員宅での作業体験に合わせて行われ、三富開拓の歴史や文化などに

ついても三芳町や三富地域農業振興協議会の協力を得て学ぶことができました。

参加した女子生徒からは、「三富の落ち葉を利用した循環型農業や農家の実情が身をもって学べた。良い勉強になりました。」などの感想が聞かれました。また、男子生徒からは「落ち葉堆肥の切り返しなどの作業も体験したかった。」などの声も聞かれました。

受け入れた島田会長は、「自分も同校の卒業生であり、今後とも学校と連携し三富農業の理解者を増やしたい。」と抱負を述べていました。

三富地域農業振興協議会では、関係機関と連携し、今後ともこれらの活動を継続的に実施できるよう支援していくこととしています。

東京駅地下マルシェで三富産農産物が好評～林芳正農林水産大臣が視察～

三富地域農業振興協議会（会長 齊藤満）は、昨年6月から三富産農産物の販路開拓を促進する一環として東京駅行幸地下通路で毎月第2、4金曜日に開催されている「丸の内行幸マルシェ・青空市場」（実行委員長 俳優 永島敏行）に出店し、農家の協力を得て野菜を販売しています。

9月27日には、林芳正農林水産大臣がマルシェの視察に訪れ、当日出店していた川越市農産物直売会の飯野芳彦さんが三富農業を説明しPRを行いました。

林大臣はサツマイモを試食し、「ほくほく

と、とってもうまい。」と話しながらサツマイモを購入していました。

協議会では、マルシェの活動が好評なことから、今後とも農家の理解と協力を得てマルシェ等での農産物販売を通じて三富農業の情報発信と三富産農産物の販路開拓を進めることとしています。



説明を受ける林大臣（中央）

埼玉県産材による公共建築物の木造化・内装木質化

昨年度に開館した飯能市立図書館は、杉磨き丸太を130本使用するなど、ふんだんに西川材を使用して建設され、全国木材利用優良施設コンクールで林野庁長官賞を受賞しました。



飯能市立図書館

また、毛呂山町立ゆずの里保育園は、木造の特徴を活かし、こどもたちがのびのびと過ごせる施設になっています。今後も公共施設等での県産木材利用を積極的に進めていきます。



毛呂山町立ゆずの里保育園

地域指導農家・青年農業経営士・農村女性アドバイザーが新規認定

平成25年度埼玉県農業・農村リーダー認定証交付式が11月28日にさいたま市文化センターで開催されました。

狭山市の室岡英紀さん、奥富康雄さん、入間市の佐藤和美さん、坂戸市の荻野俊幸さんが地域指導農家として、日高市の秋葉俊幸さん、金子豊さん、柳田和也さんが青年農業経営士として、越生町の山口由美さん、吉澤節子さんが農村女性アドバイザーとして、知事の認定を受けました。今後の御活躍を期待します。



新規認定者

入間地方青年農業者会議が開催される

平成25年度入間地方青年農業者会議（プロジェクト成果等発表会）が1月16日に狭山市市民会館で開催されました。

プロジェクト発表は、むさし4Hクラブの道谷淳史さん（個人）と所沢市4Hクラブ（共同）が、意見発表は、入間市4Hクラブの的場龍太郎さんが、それぞれ優秀賞を受賞しました。

2月14日に開催された埼玉県大会で当地域代表としてこの3課題の発表を行い、入間市4Hクラブの的場さんの意見発表が最優秀賞（知事賞）を受賞し、県代表として関東大会で発表することになりました。



的場さんの意見発表

人・農地プランが管内全13市町で作成

人・農地プランは、人と農地の問題を解決するための「未来の設計図」として地域の皆さんで話し合っって作成します。平成24年度から各市町で作成の取り組みが始まり、今年度中に全ての市町で1つ以上のプランが作成されます。

今後は作成されたプランの実行や見直し、新規プランの作成を進めることになります。新たに始まる農地中間管理機構の制度を活用するなどして、担い手への農地の集積・集約が進むことを支援してまいります。

<各市町の作成状況(作成年度、地区名)>

川越市(25芳野)/所沢市(24中富、下富、26北野)/飯能市(24平松・芦刈場、25川崎・下川崎)/狭山市(25奥富)/入間市(25全域)/富士見市(25南畑)/坂戸市(25全域)/鶴ヶ島市(24全域)/日高市(24田波目、南平沢・新堀)/ふじみ野市(25駒林東部)/三芳町(24北永井)/毛呂山町(24西大久保)/越生町(25全域)

*26年4月までの作成見込みを含んでいます。

きのご原木・ほだ木は放射性物質検査をして合格したものを使用しましょう！

林野庁により、きのご原木・ほだ木の使用の可否について指標値が設けられました（平成24年4月1日より）。

これにより、きのご原木・ほだ木については、放射性セシウムの検査を実施し、指標値50ベクレル/kg以下のものを使用することが示されました。

そこで埼玉県では一昨年より、市町村、JAに御協力いただき、生産者の方へ50ベクレル/kg以下の原木、ほだ木を使用するよう

周知徹底を図ってまいりました。

今後も安心・安全なきのこを消費者に届けるため、御自身でしいたけなどきのごの原木を伐採する方やまだ検査をしていない原木・ほだ木をお持ちの方は県で検査※をいたしますので林業部 森林技術・林業支援担当（電話042-973-5730）へ御連絡ください。

※県で検査するものは、生産したきのごを販売する場合に対象となります（自家消費の原木・ほだ木は対象外）。

正しい農薬使用で安全な農産物生産を！

農薬を正しく安全に使用するために、次の点に注意しましょう。

- ラベルや袋に記載された注意事項と使用基準、最終有効年月を確認して使いましょう。
- 「適用作物」「使用量、希釈倍数」「使用時期」「総使用回数」を必ず守りましょう。
- 農薬使用時は風や周辺環境を十分確認し、他の作物などへ飛散しないよう注意しましょう。

- 散布時はメガネやマスクなどの保護具を使用しましょう。
- 通学路や住宅に近接した場所に農薬を散布する場合は、周辺住民への周知や散布時間の配慮など事故防止に努めましょう。
- 農薬の使用日時、農薬名、使用した圃場・作物、使用量を記録しましょう。
- 農薬は専用保管庫など鍵のかかる安全な場所で保管しましょう。

農地改良には注意が必要です！－農地を守るのはあなた自身です－

<農地転用の手続>

農地改良（田畑転換や客土）をする場合は、事前に農地法に基づく農地の一時転用の届出又は許可を得る必要があります。

<責任者はあなたです>

農地改良の申請書は、土地所有者と工事を実施する事業者が連名で作成します。

契約などの手続が終わったからといって、あとは事業者任せにしてしまってもいけません。

工事中に不法行為が行われた場合においても、事業者だけでなく土地所有者の責任も厳しく問われることとなります。

<こんなトラブルが報告されています>

- ・農地にゴミや瓦礫を入れられた…
- ・仕上げが悪くて耕作できない…
- ・近隣の土地所有者とトラブルが起きた…

<ご相談ください>

農地改良を計画されたときは、必ず地元市町の農業委員会にご相談ください。

飯能市の栗原慶子さんが天皇杯を受賞！

平成25年度（第52回）農林水産祭林産部門で、栗原慶子さんが天皇杯を受賞しました。県内では女性で初の受賞、林産部門での女性単独での受賞は全国で初めてです。

栗原さんは、平成24年度農山漁村女性・シニア活動表彰の女性地域社会参画部門で、農林水産大臣賞を受賞しています。

栗原さんは、県内初の林業女性グループ「東吾野林業婦人の会」（現在の東吾野女性林研「ときめ木」）で、学習活動、木工品製作、特産品づくりなど幅広い活動を行ってきました。また、埼玉県林業女性会議「結木の会」の結成、全国林業研究グループ連絡協議会女性会議を組織化し初代代表を務めるなど、各地の林業女性グループの結成に尽力しました。さらに、中央森林審議会委員や林政審議会委員として、全国の林業女性の代表として様々な提言を行ってきました。

このように、林業界での女性の地位向上と男女共同参画の推進に尽力してきたほか、山村地域の活性化にも取り組んでいることが高く評価されました。

受賞にあたって、栗原さんは「二十数年の私のささやかな活動が評価され、受賞できたことはこれから続く多くの仲間たちへ励みになることと、心から嬉しく思っています。これからも、森林を生かした山村地域の活性化や、次の世代へ地域の文化の伝承などにも取り組んでいきたいと思っております」と喜びを表していました。



川越市の齊藤敏子さん、埼玉農業大賞農業ベンチャー部門で優秀賞を受賞！

川越市で露地野菜経営を営む、齊藤敏子さんが、第4回埼玉農業大賞（農業ベンチャー部門）優秀賞を受賞しました。

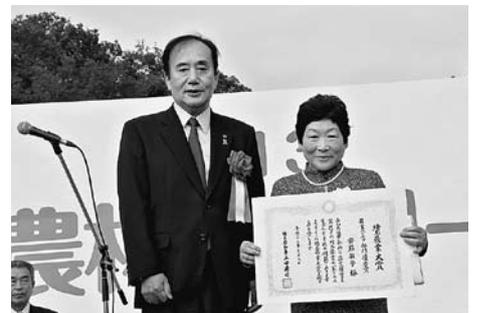
齊藤さんは、専業主婦としてさいたま市に住んでいましたが、もともと食に対する関心が高く、将来は農業に取り組みたいと考えていました。平成13年に出身地の川越市に戻り、地縁や血縁を頼りに少しずつ農地を確保しながら、技術も身に付け、3年間の実績を積み、平成16年に農家になりました。平成19年には認定農業者になり、計画的な機械・施設の装備と規模拡大に取り組んできました。

経営内容はブロッコリー、ネギを中心に周年出荷できる体制を確立し、販売は独自にスーパーへの直接販売や食品加工業者向けの契約栽培・販売を行い、新規性のある取組に

挑戦しています。スーパーとの取引では、消費者の求めるものを的確に受け止め、ブロッコリー小房の袋詰めや細ネギの特売品などの自作商品を打ち出し、消費者からも高い支持を得るようになっていきます。

また、遊休農地の解消にも積極的に取り組み、ほ場管理能力の高さは周辺農家からも評価されています。

経営開始から13年、地域の信頼も厚く、新規参入の模範として優秀賞を受賞しました。



平成26年2月14日の降雪による農業被害対策

平成26年2月14日から15日にかけての降雪は記録的な大雪となり、農作物や農業用施設に大きな被害をもたらしました。

被害にあわれた方には心からお見舞い申し上げます。

被害にあわれた皆様を対象とした支援策は「大雪による農林業被害対応ポータルサイト」<http://www.pref.saitama.lg.jp/page/setugai-joho.html>をご覧ください。